

鋸南町総合計画

2011～2020

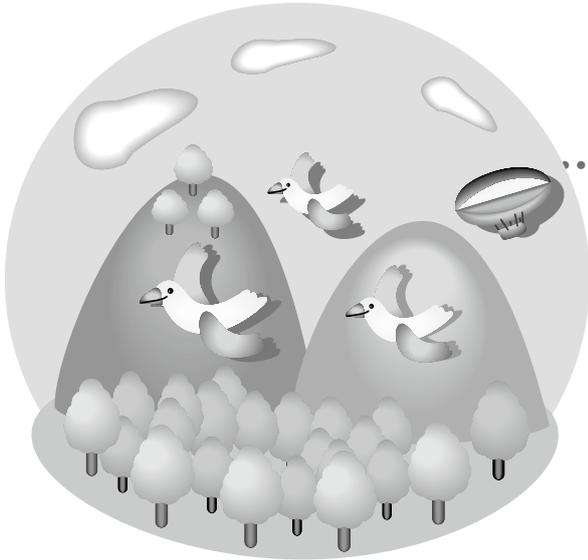
ダイジェスト版

目次

はじめに	2
まちづくりの基本理念	3
鋸南町の将来像	4
基本的な政策の方向	5
重点プロジェクト	10
土地利用の基本的な方向	12

まちづくりの基本理念

大きく変化する社会動向、鋸南町の地域特性やこれまでのまちづくりの取り組み、住民ニーズをふまえ、鋸南町は、「『里山』を彩る」「『里海』に根ざす」「『里愛』で結びつく」の3つをまちづくりの基本理念に据えます。



「里山」を彩る

里山は、私たちの周囲にいつもあり、静かに私たちを見守っています。四季折々に美しい表情を見せ、私たちに恵みをもたらし、私たちの心を癒します。

私たちは、里山を花や動物たちで彩り、里山の恵みを活かしたまちづくりを進めます。

「里海」に根ざす

里海は、絶えずキラキラ輝き、波音で私たちを高揚させます。ここでしか味わえない魚の美味さやマリレジャーの奥深さで私たちを魅了します。

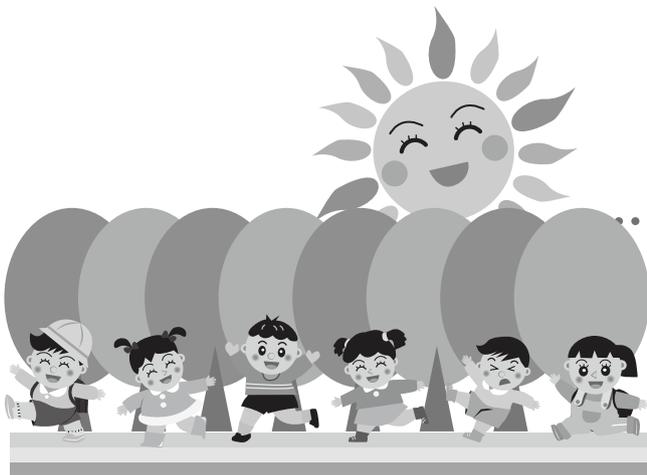
私たちは、里海の大切さを常に心に抱き、里海に根ざしたまちづくりを進めます。



「里愛」で結びつく

鋸南町の住民、町を訪れる訪問客、そして町のことに興味を持った未来の住民・訪問客。里愛は、「鋸南町」をテーマにみんなが結びつきます。

私たちは、明日の鋸南町をみんなで拓く、「里愛」で結びつくまちづくりを進めます。



鋸南町の将来像

本総合計画では、10年後の町の将来像を「みんなでつくる三ツ星のふるさと・鋸南」と定めます。

将来像

みんなでつくる 三ツ星のふるさと・鋸南



「三ツ星」とは、珠玉の花々に彩られた「里山」、富士山を望む「里海」、そして人々の鋸南町への想いを意味する「里愛」を表します。

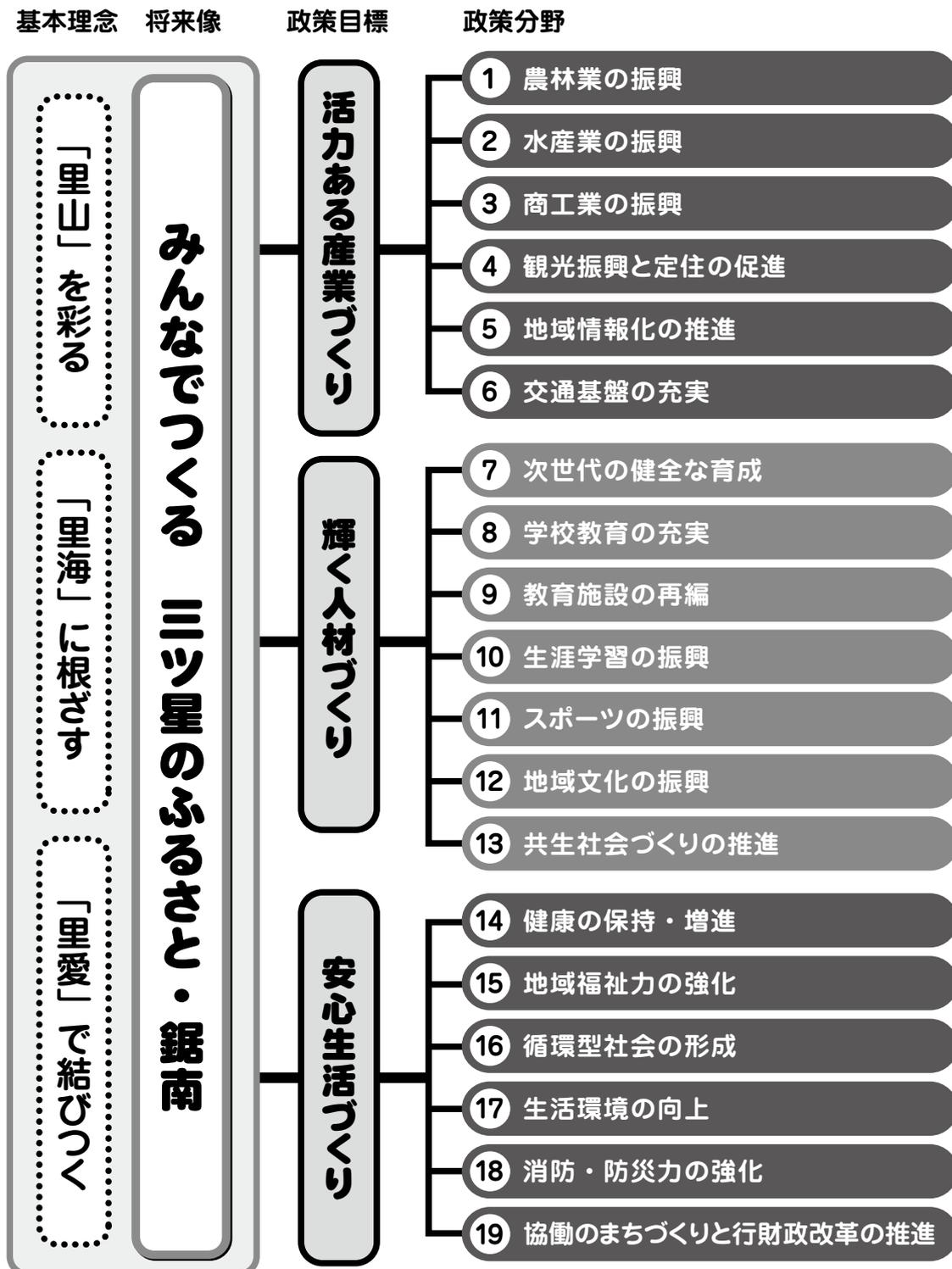
少子高齢化が進む中で、鋸南町は、都会と同じものを求めるのではなく、温暖な気候、風光明媚な景観、首都東京への近接性など、町が有する特性を活かしながら、住民どうし、住民と行政が力をあわせ、「里山」を彩り、「里海」に根ざし、「里愛」で結びつくまちづくりを推進し、住んでよし、働いてよし、訪れてよしの「三ツ星のふるさと」を創っていきます。

Jewelry Flowers：珠玉の花々。転じてとっておきの花々
seeing Mt. Fuji：富士山を望む
full of Hot Spirits：篤志あふれる

基本的な政策の方向

「三ツ星のふるさと」をめざし、政策目標として、「活力ある産業づくり」、「輝く人材づくり」、「安心生活づくり」を定めます。この3つの政策目標に沿い、19本の政策分野を掲げます。

政策大綱 体系図



政策目標 1 活力ある産業づくり

1 農林業の振興

農林業は、安全・安心な食料等の供給に留まらず、環境保全、食育など、多面的な機能があり、継続的な振興が求められます。

そのため、地区ごとに、意欲的な担い手への農地の集積と耕作放棄の予防、有害鳥獣対策などを進め、優良な農産物の安定生産を図るとともに、加工・販売体制の充実に努めます。

また、森林の多様な公益的機能の保全・整備を図ります。

稲刈り体験



2 水産業の振興

水産業は、町の産業振興の原動力であり、安全・安心・高品質の漁業資源を安定的に漁獲し、付加価値を高めて出荷・販売するしくみの維持・強化に努めていきます。

そのために、種苗・稚貝放流など、資源管理型漁業の一層の強化を促進するとともに、漁業後継者の育成・確保、漁業経営の改善、さらには、漁港や関連施設の整備促進、加工・販売方法の開発・研究などを進めます。

お魚いっぱい 私たちの海



3 商工業の振興

商工業は、町の雇用の場であり、住民の日常の消費の場という認識のもと、花、野菜をはじめとする農産物や魚介類など、地域資源を活かした商品・サービスの開発・販売を促進するなど、商工会等とともに支援に努めます。また、各職場で従業員がいきいきと意欲的に働き続けられるよう支援していきます。

また、都心から1時間という立地を活かし、企業誘致に努めます。

4 観光振興と定住の促進

海の幸や海水浴、マリンスポーツ、釣りなど「里海」の観光資源と、体験農業や花見、ハイキング、マラソンなど「里山」の観光資源を「里愛」で結びつけ、「三ツ星級のおもてなし」により、国内外から訪問客が繰り返し訪れる「千客万来の鋸南町」をめざします。

そのために、住民と行政が協力しあいながら、また、南房総地域の広域連携を図りながら国内外への積極的な情報発信を図ります。

こうした交流人口を拡大する取り組みに加え、移住希望者が知りたい空き家や町の情報をわかりやすく都市住民に提供するなど、U・Iターン施策を推進し、定住者・二地域居住者の増加を図ります。

5 地域情報化の推進

情報通信基盤を活用し、住民生活や産業活動がより効果的に行えるよう支援していきます。

町政においても、行政サービスを迅速・的確に提供するため、情報通信基盤の充実に努めます。

情報化の急速な進展の一方、情報格差が拡大することが懸念されるため、初心者向けのパソコン教室を開催するなど、情報格差の抑制策を推進します。

6 交通基盤の充実

良好な交通基盤は、快適な暮らしや産業・経済・文化の活性化のための必須条件です。

住民や訪問客にとって欠かせない公共交通は、JR線の便数の維持・確保や時間短縮、高速バスの町内停車等を働きかけていくほか、青バス・赤バスの利便性の向上に努めます。また、需要に応じて柔軟に運行できるコミュニティ交通システム

のあり方を研究していくとともに、増加傾向にある車での観光客に対応するため、駐車場用地の確保にも努めます。

道路については、富津館山道路の4車線化や国道・県道の改良を要請していくとともに、町道の計画的な整備に努めます。また、交通安全教育の徹底と交通安全施設の整備を進めるとともに、老朽橋梁の改修にも努めていきます。

政策目標2 輝く人材づくり

7 次世代の健全な育成

育児不安の解消や、子どもたちの健全な発達の促進を図るため、保育所・幼稚園・学童保育などの公的サービスとそれを補完するボランティア、近所の支えあいによる地域子育て支援を推進します。さらに、女性が仕事や地域活動を続けながら、安心して子どもを育てられるよう、多様な保育サービスの展開に努めます。

また、個々の家庭状況や子どもの発達段階に応じた適切な情報提供や相談体制の充実に努めるなど、教育の原点としての家庭の力を高めます。

に柔軟に対応できる教育を推進します。

また、食、福祉、環境などの体験を通じて、自主性や創造性に富み、他人を思いやる心の教育を充実し、個性を活かす教育の推進に努めます。

そのために、教育環境の充実を図るとともに、地域住民との一層の連携強化に努めます。

8 学校教育の充実



鋸南の元気な子どもたち

生きる力と生涯にわたって学び続ける意欲を育むため、基礎的な学力・好ましい生活習慣の定着を基本に、情報化、国際化など急速な社会の変化

9 教育施設の再編

小学校は、単学級の解消や望ましい学級編成を実現するため統合を推進します。統合小学校は、施設整備を進めている勝山小学校とし、老朽化が心配されている勝山小学校の特別教室棟及び管理棟の施設整備を早急に行い、統合できる体制を整えます。

また、小学校統合後、鋸南保育所に幼稚園スペースを拡充し、幼保一元化施設に移行できるよう検討していきます。学童保育所は、引き続き公設公営で運営し、小学校統合にあわせ、勝山小学校敷地内に整備できるよう検討していきます。

10 生涯学習の振興

住民一人ひとりの学習ニーズに対応するため、学習機会を選択して学ぶことができる体制づくりを整え、「いつでも、どこでも、だれでも」をモットーとした生涯学習を推進します。

また、各種公民館講座を通じて地域を教材とした学習活動や、家庭・学校・地域社会それぞれの教育の充実と相互の連携を推進します。

11 スポーツの振興

人々の健康・自然・交流志向に対応し、子どもから高齢者まで多様なスポーツを気軽に楽しみ、継続できるよう、生涯スポーツの振興を図ります。

また、住民がスポーツ活動を通じて生きがいのある生活を送るため、各種事業への参加や情報提供に努めます。

そのために、住民と訪問客がともに楽しめるスポーツイベントの企画・運営や、日常的にスポーツを楽しむフィールドの充実を総合的に実践する「クロススポーツのまちづくり」を展開していきます。



クロススポーツのまちづくり

12 地域文化の振興

いにしえから人が住み、海を介して日本全国の地域との交流が行われてきた鋸南町には、貴重な文化財・伝統文化が数多く遺されているため、それらの保存と継承に努めます。

また、音楽や演劇の鑑賞事業を定期的を開催するなど、住民が身近な場所で優れた芸術・文化にふれる機会づくりに努めるとともに、地域資源を活かして独創性のある新たな地域文化の創造に努めます。

13 共生社会づくりの推進

すべての人が差別やいじめなどを受けることなく、人権が尊重され、お互いに理解・協力しながら暮らししていける社会づくりを推進します。

そのために、男女共同参画社会をめざし、男女の固定的な役割分担意識を是正する啓発活動の展開や、配偶者等暴力対策の推進などに努めます。また、外国人と日本人がお互いの文化を理解しあう多文化共生社会づくりに努めます。

政策目標3 安心生活づくり

14 健康の保持・増進

「自らの健康は自らがつくる」を基本に、生涯を通じた健康づくりを推進するため、食生活改善推進員や保健推進員などボランティアの協力を得ながら、健診や保健指導の展開と、住民の主体的な健康づくり活動の支援に努めます。

また、住民などが温泉等を広く活用できる施設の充実を図り、福祉の充実とともに、地域の活性化を図ります。

医療については、国保鋸南病院の医療体制の確保・充実と健全な経営を指定管理者と協働で推進するとともに、救急医療体制の確保に努めます。

15 地域福祉力の強化

高齢者の増加や障害者の社会参加ニーズの高ま

り、核家族化の進行などにより、福祉の必要量は今後も拡大していくことが予想されます。

住民がいつまでも元気で自立し、安心して暮らせるまちづくりをめざし、高齢者への介護・福祉、障害者への生活支援や社会参加促進、低所得者への福祉等の公的サービスに加え、それを補完するボランティア、近所の支えあいを活発化し、地域福祉力を高めていきます。

16 循環型社会の形成

持続的発展が可能な環境を次世代に引き継ぎ、次世代の住民が鋸南町で安心して暮らしていけるよう、自然環境や地球環境の保全にむけた啓発・実践活動の一層の推進に努めます。

生活排水については、合併処理浄化槽の普及を図るとともに、各家庭に設置されている浄化槽の適切な維持管理の啓発に努めます。

廃棄物については、広域行政による適切な処理に努めるとともに、排出をできるだけ抑制し、排出された廃棄物については極力再利用する資源循環型社会づくりをめざしていきます。

地球環境については、温室効果ガス削減にむけ、環境にやさしい生活の推進を啓発していきます。

17 生活環境の向上

防犯、住宅、公園・環境美化・景観形成など、住生活施策を推進し、住民が安心・快適に暮らせるとともに、U・Iターン者にとっても移り住む魅力を感じることができる生活環境づくりを進めます。

防犯については、町や関係機関、地域が一体となって防犯活動を展開するとともに、消費者保護体制の充実に努めます。

水道については、浄水場施設の整備や老朽管の計画的な更新を図るとともに、水道事業の安定化にむけた広域での事業統合を研究していきます。

住宅については、公共施設や民間住宅の耐震化の促進等に努めます。

公園については、既存の公園の適切な維持管理に努めるとともに、遊休スペースを活用した整備を検討していきます。環境美化については、住民一斉清掃等を推進するとともに、山林・海岸等への廃棄物の不法投棄防止に努めます。景観形成については、桜苗木の配布などにより、住民による花と緑の景観づくりを促進していきます。

18 消防・防災力の強化

地域の安全を守ります



住民の生命・身体・財産を守るためには、強い消防力が不可欠なことから消防団の維持充実に努めるとともに、医療機関・警察等と密接に連携しながら、高度化・専門化する消防・救急要請に迅速・

的確に対応できる体制の確保に努め、安全で安心なまちづくりを推進していきます。

防災については、大災害時は、初動期の地域での自主的な避難・救助が重要であるため、日頃から、地区ごとの災害時要援護者の見守り体制の確立を図るとともに、あらゆる災害を想定した職員動員体制の確保に努めます。また、土砂災害対策や河川改修など、災害に強いまちづくりを促進していきます。

19 協働のまちづくりと行財政改革の推進

住民と行政との協働により、個性的な地域づくりを行っていただけるよう、住民の様々な地域づくり活動の活性化を図るとともに、PDCAサイクル^(注)による行政評価の推進、職員の意識改革・能力開発などによる効果的・効率的な行政運営の推進に努めます。

また、地域産業の振興と定住対策を積極的に進めて地域活力の創出を図り、安定した自主財源の確保に努めるとともに、経常経費の削減など継続的に行財政改革を推し進め、健全な財政運営に努めます。

(注) PDCA： 計画 (PLAN) 実施 (DO)
評価 (CHECK) 改善 (ACTION)

地域で盛り上げる勝山祭礼



重点プロジェクト

1 里山ときめきプロジェクト

「里山」は、農林業や花の植栽活動などによって、適度に人の手が入ることによって良好な状態に保たれる自然的空間です。住民と行政がともに鋸南町の「里山」の重要性を認識し、最大限に保全、活用していきます。

〔主な取り組み〕

◆ 優良農地の確保

農地は農産物の生産のみならず、水源かん養、環境保全、防災、保養など多面的な機能を有するため、その長期的な確保を図るため、意欲的な担い手への農地の利用集積や、遊休農地・耕作放棄地の再生・有効利用の促進を図ります。

◆ 花であふれるまちづくりの推進

スイセンをはじめとする出荷用の花の生産に加え、住民による地区ごとの特色ある花の景観づくりを推進し、農業、観光、環境保全など、様々な分野への波及効果を高めていきます。

◆ 「里山」を通じた交流の推進

観光客と住民が活発に交流する魅力的な地域づくりにむけて、里山をフィールドとしたクロススポーツや、農林業体験の様々な取り組みを精力的に展開していきます。また、保田小学校跡地を利用して鋸南町の新鮮な農産物等を直売する新交流拠点を整備します。

—仕事終え、至福のひととき



2 里海きらめきプロジェクト

水産業や観光など様々な分野で私たちに恩恵をもたらす「里海」の自然循環機能を将来にわたって維持していくことが求められます。住民と行政がともに鋸南町の「里海」の重要性を認識し、最大限に保全し、活用していきます。

〔主な取り組み〕

◆ 美しい海洋環境の保全

地域ぐるみによる海岸の清掃美化活動を引き続き精力的に展開するとともに、合併処理浄化槽の設置促進等による水質汚濁の防止を図り、美しい海洋環境の保全に努めます。

◆ つくり育てる漁業の振興

水産資源の枯渇を防ぎ、将来にわたって持続的に活用を図るため、中間育成・放流を推

次世代に引き継ぎたい私たちの海



進するとともに、漁獲物の蓄養・活魚化を推進するなど、付加価値向上を図り、つくり育てる漁業の振興に努めます。

◆「里海」を通じた交流の促進

観光客と住民が活発に交流する魅力的な地域づくりにむけて、里海をフィールドとしたクロススポーツや、漁業体験の様々な取り組みを精力的に展開していきます。また、漁港周辺の観光交流拠点としての魅力化に努めます。

3 里愛あったかプロジェクト

「里愛」は、住民どうしの支えあいや、観光客を温かく受け入れるもてなしの心。住民一人ひとりが「里愛」で結びつく、「確かな地域力」の維持・強化を図っていきます。

〔主な取り組み〕

◆ 地域ぐるみの健康福祉のまちづくり

健康づくり・介護予防活動、見守り活動を地域ぐるみで展開し、高齢者や障害者、子どもなど、すべての住民が住み慣れた地域でいきいきと暮らせる健康福祉のまちづくりを推進します。

鋸南町の元気拠点「保健福祉総合センターすこやか」



◆ 地域ぐるみの安全・安心のまちづくり

あいさつ、声かけを基本とした自主防犯活動の活性化を図り、地域防犯力を高めるとともに、災害時要援護者対策の推進などにより地域防災体制を強化し、地域ぐるみで安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

◆「里愛」を未来へつなぐふるさと教育の推進

子どもたちが、鋸南町の豊かな自然や文化のもと、学力や運動能力を伸ばし、豊かな心を育ていけるよう、教育施設の再編を推進し、新しい保育・教育体制の確立を図ります。

地域ぐるみでフィルムロケを誘致



◆「里愛」あふれる観光地づくりの推進

観光客のニーズを的確に受け止め、きめ細かな気づかいのもと、温かく受け入れる観光地づくりをめざし、住民が地域のよさを学び体感できる機会の拡充や、観光ボランティア人材の育成・組織化、外国人観光客の受け入れ体制の整備などを進めます。

土地利用の基本的な方向

■江月から大帷子、横根、上佐久間、下佐久間に至る沿道集落と後背の農地、周辺の山林地域を里山回廊と位置づけます。

■里山回廊は、スイセン、桜、菜花をはじめ、四季折々の花が人々の心を癒し、ホテルをはじめとする野生生物の貴重な生態系が保全された人と自然が共生する回廊として、住んでよし、働いてよし、巡ってよしの魅力的な空間づくりに努めます。



■元名から岩井袋に至る海岸地域を里海回廊と位置づけます。

■里海回廊は、白砂青松の砂浜と険しい断崖のコントラストが美しい、富士山を臨む風光明媚な海岸として、また、多くの漁業資源を育み、人々の多彩な交流が行われる地域として、住んでよし、働いてよし、巡ってよしの魅力的な空間づくりに努めます。

鋸南町総合計画〔2011～2020〕 ダイジェスト版

鋸南町役場

〒299-2192 千葉県安房郡鋸南町下佐久間3458番地

TEL:0470-55-2111 FAX:0470-55-1342